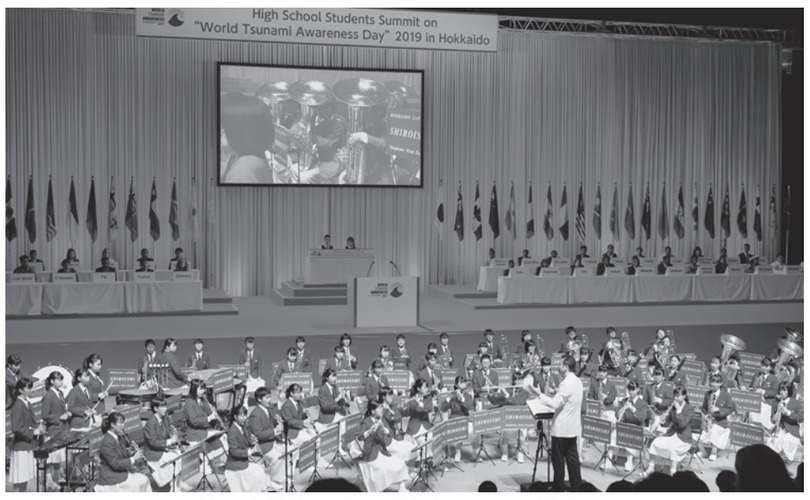
北海道・札幌に国内外から400人

〝記憶を未来へ、備えを明日へ〟

～北の大地からイランカラプテ。自然災害の脅威と対応を学ぶ～

国内外の高校生が日本の津波の歴史や防災・減災などの取り組みを学ぶ「『世界津波の日』2019高校生サミットin北海道」（北海道、道教育委員会主催）が10、11の両日、札幌市豊平区の「北海きたえーる」（道立総合体育センター）で開催された。4回目を迎える今回は、国内68校、海外43カ国から高校生約400人が参加し、議論を交わした。サミット全体の成果として「イランカラプテ（アイヌ語で『こんにちは』）宣言」も採択された。次回は新潟県で開催する。

北海道を代表してあいさつする鈴木知事



地元高校生による「未来の翼」の演奏

開会式など

12グループが3分科会で熱心に意見交換

「世界津波の日」高校生サミットは、2015年12月の国連総会で「世界津波の日」（11月5日）が制定されたことを機に、16年から世界各国の高校生が津波の脅威とその対策を学ぶ場として創設された。これまで高知、沖縄、和歌山各県で開催された。

今回の全体テーマは「〝記憶を未来へ、備えを明日へ〟～北の大地からイランカラプテ。自然災害の脅威と対応を学ぶ～」。国内180人、海外214人の高校生が参加した。

7～9日は参加する高校生が2班に分かれ、道南・道央と、道東でスタディツアーを行い、防災施設の視察や地元の高校生と交流を深めた。

関係者によると、1993年の北海道南西沖地震で大きな津波被害を受けた奥尻町のツアーには16カ国の約80人が参加。奥尻島津波館の見学や、慰霊碑「時空翔」では献花もしたという。

二階氏のあいさつ文を代読する福井衆院議員

10日、北海きたえーるで開かれた分科会は、①知識を得る～過去の教訓の伝承②意識を高める～災害への備えと迅速な避難③復興に向け共に行動する～社会貢献、被災当事者と支援者の視点―について、高校生が12グループに分かれ、熱心に意見交換した。

同日の開会式。正面壇上の中央に高校生議長2人、左右に各国高校生代表が着席。オープニングアトラクションとして札幌白石高校吹奏楽部による「未来の翼」が演奏された後、議長を務めた札幌国際情報高校2年の井戸静星（しずか）さんと札幌日本大学高校1年の桐越航（わたる）さんが力強く開会宣言。

主催者を代表して鈴木直道知事があいさつ。「北海道では1993年の南西沖地震と直後の津波で200人を超える人の尊い命が犠牲になり、2000年には有珠山の噴火など大規模な災害を経験した。そして、震度7という甚大な被害を生じた胆振東部地震から1年となる中、防災の意識を高めるサミットの開催は大変に意義深いものがある」と強調。

会場は多くの高校生で熱気にあふれた

分科会で熱心に意見を交わす高校生

スタディツアーの成果を報告する海外の高校生

また、「サミットで絆を深めた皆さんが、将来、それぞれの国において活躍するリーダーとなり、各国、各地域の連携を一層深めていただくことを願っている」とした上で、「滞在中にたくさんの北海道の魅力に触れ、北海道を好きになってほしい」と呼び掛けた。

津波の日の提唱者、二階俊博衆院議員（自民党幹事長）が所用で欠席となったため、代わって福井照衆院議員が二階氏のあいさつ文を代読した（代読の要旨は次の通り）。

「今回の開催で、参加する高校生は千人を超えることになった。関係者の皆さんのご協力に感謝申し上げる」

「災害から一人でも多くの命を守るためには、過去の災害の教訓から学び、普段の心構えが重要だ。皆さんがこの地で多くのことを学んでいただくことを願っている」

「地震が起きたら逃げてください。逃げることを家族や友人に伝えてください。そして、津波から自分、大切な人、家族と友人の命を救ってください。私自身、子や孫たちの未来のため、災害に強く、しなやかで強靭（きょうじん）な国土をつくりあげ、後世に平和のバトンをつないでいきたいと考えています。災害で人の命を失わせないという考えのもと、世界の人々と心を合わせ取り組んでいきます」

その後、スタディツアーと事前学習ツアーの報告があり、閉会した。

10日夜には札幌パークホテルで、鈴木知事をはじめ、国会議員や各国の在京大使、地元自治体の首長らが出席し、外務省主催のレセプションが行われた。阿部俊子外務副大臣（当時）があいさつを行い、日常の防災意識の重要性や高校生への期待を述べた。高校生はオレンジジュースで乾杯し、交流を深めた。地元高校生によるヨサコイソーラン踊りも披露された。

レセプションから

オレンジジュースで乾杯する高校生

レセプションで屈託のない笑顔を見せる高校生

国内外の参加高校

（日本180人、海外214人）

【北海道】
浦河高校▽江差高校▽釧路明輝高校▽札幌国際情報高校▽札幌西高校▽札幌南高校▽滝川高校▽根室高校▽登別明日中等教育学校▽函館水産高校▽札幌開成中等教育学校▽奥尻高校▽霧多布高校▽釧路北陽高校▽札幌新陽高校▽札幌日本大学高校▽函館ラ・サール高校

【岩手県】
釜石高校

【宮城県】
気仙沼高校▽佐沼高校▽仙台第一高校▽仙台第三高校▽多賀城高校

【栃木県】
佐野高校

【群馬県】
高崎経済大学附属高校

【埼玉県】
不動岡高校▽早稲田大学本庄高校

【千葉県】
稲毛高校

【東京都】
東京学芸大学附属国際中等教育学校▽白鷗高校▽南多摩中等教育学校▽富士見丘中学高校

【神奈川県】
横須賀総合高校▽聖光学院高校

【福井県】
鯖江高校

【山梨県】
甲陵高校

【静岡県】
池新田高校▽駿河総合高校▽沼津西高校▽静岡サレジオ高校▽静岡聖光学院中・高校

【愛知県】
大成高校

【三重県】
桑名高校▽四日市高校

【京都府】
京都学園高校▽立命館高校

【大阪府】
大阪教育大学附属高校平野校舎▽高石高校▽関西創価高校

【兵庫県】
尼崎小田高校

【奈良県】
畝傍高校

【和歌山県】
串本古座高校▽新宮高校▽耐久高校▽日高高校

【岡山県】
井原高校

【徳島県】
城南高校▽徳島文理高校

【愛媛県】
宇和島東高校

【高知県】
大方高校▽高知南高校▽宿毛高校▽土佐塾高校▽明徳義塾高校

【福岡県】
戸畑高校▽明治学園中学・高校

【熊本県】
熊本高校

【大分県】
佐伯鶴城高校

海外
中国▽韓国▽インド▽スリランカ▽モンゴル▽モルディブ▽インドネシア▽シンガポール▽タイ▽ベトナム▽マレーシア▽トルコ▽ロシア▽オランダ▽フランス▽ドイツ▽イタリア▽米国（ハワイ）▽カナダ▽ブラジル▽ペルー▽チリ▽アルゼンチン▽パラグアイ▽メキシコ▽エルサルバドル▽オーストラリア▽ニュージーランド▽クック諸島▽フィジー▽キリバス▽マーシャル▽ミクロネシア▽ナウル▽ニウエ▽パラオ▽パプアニューギニア▽サモア▽ソロモン諸島▽トンガ▽ツバル▽バヌアツ▽南アフリカ